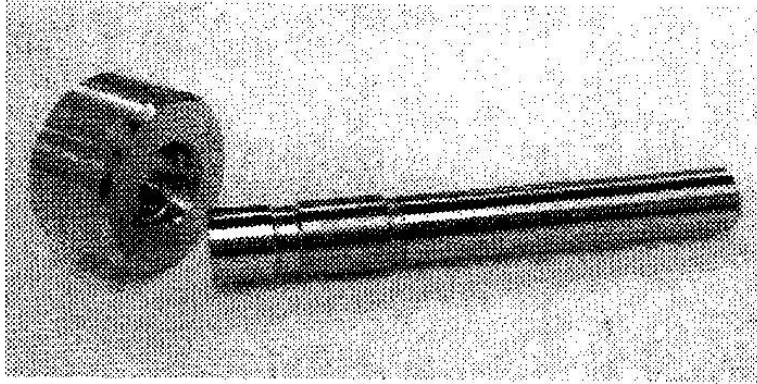


2009年5月27日 日刊工業新聞に掲載されました

微細送りネジを完成

光高工業、0.05mmピッチに

光高工業（東京都世田谷区、光高眞法社長、03・3704・2454）は、1ピッチあたり0・05mmの送りネジ



（写真）を完成、サンプル出荷を始めた。光学機器や医療機器といった微細な技術が求められる分野での需要を見込む。開発した送りネジは、直径5mmで、長さ5mmにネジ山が100個ある。材質は雄ネジが合金工具鋼のSKS3、雌ネジは真ちゅう。

雄ネジは外径仕上げ後、自社で改良したネジ研削盤で加工する、雌ネジは専用のタップで製作した。タップは高速度鋼（ハイス）を採用。ピッチが細かく「先端をとが

らせる作業が困難」（光高徳法専務）なことからタップ自体の摩耗が起るため、1個のタップでは20個ほどしか製造できない。

同社はすでに1ピッチあたり0・1mmの送りネジを開発済みで、新開発のネジは取引先からの要請に基づいて、約1カ月の製作期間で完成させた。光高社長は「これまで微細な加工になると砥石の成形すら難しい。雌ネジをタップで作ったことも技術力のアピールになる」と話す。